

## 環境レビュー結果

- (1) 照会番号  
18-047
- (2) プロジェクト名  
石化プラント増設
- (3) 実施場所  
パキスタン カラチ
- (4) プロジェクト概要  
既存の塩化ビニルモノマおよびポリ塩化ビニルプラントの増設
- (5) カテゴリ分類  
カテゴリ B
- (6) カテゴリ分類の根拠  
本件は、環境ガイドラインに示される石油化学セクターに該当するが、大規模ではなく、環境ガイドラインに掲げる環境影響を及ぼしやすい特性、環境影響を受けやすい地域あるいはその近傍への立地を伴わず、人権への重大な影響を及ぼす可能性はなく、環境・社会への負の影響が重大でないと判断されるため。
- (7) 環境許認可  
同国制度に基づき環境影響評価書が作成されており、同国シンド州環境保護庁より2018年12月に付帯条件付きで環境許認可を取得している。
- (8) 汚染対策  
大気質、水質、騒音、廃棄物、悪臭等への適切な汚染対策が講じられている。
- (9) 自然環境面  
本プロジェクトは既設サイト内に建設され、サイト内には保護区や貴重種等の生息地は存在しない。
- (10) 社会配慮面  
本プロジェクトの実施による新たな用地取得及び非自発的住民移転は発生しない。

(11) 適用国際基準  
世界銀行セーフガードポリシー

(12) その他（モニタリング等）  
事業者によって定期的に環境当局にモニタリング結果が報告される。

以 上



質問 8. プロジェクトサイト内または周辺域に以下に示す「影響を受けやすい地域」がありますか？

(No)

Yes の場合、該当するものをマークして下さい。質問 9 以下にお答え下さい。

No の場合、質問 9 以下にお答え下さい。

- (1) 国立公園、国指定の保護対象地域（国指定の海岸地域、湿地、少数民族・先住民族のための地域、文化遺産等）
- (2) 生態学的に重要な森林（原生林、熱帯の自然林を含む）
- (3) 生態学的に重要な生息地（珊瑚礁、マングローブ湿地、干潟を含む）
- (4) 国内法、国際条約等において保護が必要とされる貴重種の生息地
- (5) 大規模な塩類集積あるいは土壌浸食の発生する恐れのある地域
- (6) 砂漠化傾向の著しい地域
- (7) 考古学的、歴史的、文化的に固有の価値を有する地域
- (8) 少数民族あるいは先住民族、伝統的な生活様式を持つ遊牧民の人々の生活区域（文化的、精神的な目的で使用される地域を含む）、もしくは特別な社会的価値のある地域

質問 9. プロジェクトにおいて以下に示す特性が予定されていますか？

(No)

Yes の場合、該当する特性の規模を記載して下さい。また、質問 10 以下にお答え下さい。

No の場合、質問 11 以下にお答え下さい。

- (1) 非自発的住民移転または生計手段の喪失 (規模: 人)
- (2) 地下水揚水 (規模: m<sup>3</sup>/年)
- (3) 埋立、土地造成、開墾 (規模: ha)
- (4) 森林伐採 (規模: ha)

質問 10. プロジェクトを実施する国の環境社会影響評価制度において、質問 9. (1)~(4) に該当する特性及びその規模が、プロジェクトの環境社会影響評価を実施する根拠になっていますか？

- 根拠となっている  根拠となっていない
- その他 ( )

質問 11. プロジェクトは、社会面で重大な影響を及ぼす可能性が高いですか？

(No)

Yes の場合、該当する内容を記載して下さい。また、質問 12 以下にお答え下さい。

No の場合、質問 12 以下にお答え下さい。

- 人権への重大な影響を及ぼす可能性 ( )
- その他 ( )

質問 12. 貿易保険の対象となる輸出、貸付又は投資等の金額（保険価額）が、総プロジェクトコストの 5%以下または 10 百万 SDR 相当円以下ですか？（既往の同一プロジェクトへの追加的な輸出、貸付又は投資等の場合は累積額とします。）

(No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

No の場合、質問 13 以下にお答え下さい。

質問 1 3. 環境社会影響が軽微なもしくは悪化が予見されないプロジェクト（例：既存設備のメインテナンスのプロジェクト、拡張を伴わないリハビリ、追加設備投資を伴わない権益取得）に該当しますか？

(No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

No の場合、質問 14 以下にお答え下さい。

質問 1 4. 以下に掲げる特定セクターに該当するプロジェクトですか？

(Yes)

Yes の場合、該当するセクターをマークして下さい。また、質問 15 にお答え下さい。

No の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

- (1) 鉱山
- (2) 石油・天然ガス開発
- (3) パイプライン
- (4) 鉄鋼業（大型炉を含むもの）
- (5) 非鉄金属 製錬
- (6) 石油化学（原料製造。コンビナートを含む）
- (7) 石油精製
- (8) 石油・ガス・化学物質ターミナル
- (9) 紙、パルプ
- (10)セメント（新設の採石場を含むもの）
- (11)有害・有毒物質製造・輸送（国際条約等に規定されているもの）
- (12)火力発電
- (13)原子力発電
- (14)水力発電、ダム、貯水池
- (15)送变电・配電（大規模非自発的住民移転、大規模森林伐採、海底送電線を伴うもの）
- (16)道路、鉄道、橋梁
- (17)空港
- (18)港湾
- (19)下水・廃水処理（影響を及ぼしやすい 特性を含むか、影響を受けやすい地域に立地するもの）
- (20)廃棄物処理・処分
- (21)農業（大規模な開墾、灌漑を伴うもの）
- (22)林業、植林
- (23)観光（ホテル建設等）

質問 1 5. プロジェクトの規模（概略開発面積、施設面積、生産量、発電量等）について記入して下さい。また、プロジェクトを実施する国において、そのプロジェクトの規模が大きいことを理由として環境社会影響評価が必要となるかどうかについても記入して下さい。

EPCL 社生産能力

|                 |                                 |
|-----------------|---------------------------------|
| 苛性ソーダ（水酸化ナトリウム） | 11 万トン                          |
| EDC（二塩化エチレン）    | 23 万トン                          |
| VCM（塩化ビニールモノマー） | 20 万トン（2020 年央以降、増設分として 5 万トン）  |
| PVC（ポリ塩化ビニール）   | 20 万トン（2020 年央以降、増設分として 10 万トン） |

EPCL 社 工場敷地面積 65 エーカー

EPCL 社 発電能力 65 MW

現行の適用法令である Sindh Environmental Protection Act 2014 下では、全てのプロジェクトに対して Environmental Impact Assessment が求められる。